



第96号

# 宇治市の教育だより

発行 宇治市教育委員会  
〒611-8501  
京都府宇治市  
宇治琵琶33番地  
TEL (0774) 21-1879  
<https://www.city.uji.kyoto.jp/>

編集 学校教育課内  
「学校教育広報」  
編集委員会

## (仮称)西小倉地域小中一貫校の校舎建設工事が始まりました

校舎完成までの約2年間の建設工事、また、その後の現校舎の解体工事・グラウンド整備等について、『安全第一に』『学校の教育活動を大切に』しながら実施していきます。



北側から撮影した建築模型



宇治市宣伝大使 ちはや姫

契約工期/令和6年1月11日～令和8年2月20日  
工事開始日/令和6年2月13日

### 安全対策や音への対策など

- 工事車両専用の進入路(仮橋)を設置し、学校エリアと工事エリアを分けます。
- 防音シートや万能鋼板(3m)を設置し、騒音・ほこり等の防止に努めます。
- 低騒音低振動型重機を使用し、騒音・振動を最小限にするように努めます。
- 学校の授業に支障が出ないように、工事工程の調整を図りながら進めます。

西小倉中学校で工事を行っている間は、体育の授業や部活動を近隣の小学校(西小倉小・南小倉小)のグラウンドや体育館等を使用して実施します。



工事期間中も引き続き、児童生徒一人ひとりの気持ちを大切にして、本整備に取り組みます。

### ご意見・お問い合わせ

宇治市教育委員会 学校改革推進課  
TEL : 0774-20-8772 (直) FAX : 0774-21-0400  
e-mail : gakkokaikaku@city.uji.kyoto.jp



市ホームページ  
(仮称)西小倉地域小中一貫校整備事業



公式Instagram



メイングラウンド側から撮影した建築模型

令和5年度 研究指定校紹介 地域・企業等と連携したPISA型読解力育成事業

宇治市立広野中学校 課題解決能力の育成につながる授業を目指して  
—教科の学びを活用して、企業からの課題の解決策の提案を体感する—

広野中学校では、令和3年度から「地域・企業等と連携したPISA型読解力育成事業」の研究指定を受け、生徒のPISA型読解力の育成に取り組んできました。

PISA型読解力とは、「文章の読み取りができるというだけでなく、グラフや表なども含めた情報を読み取り、それらを利用して自分自身の考えをまとめ、説明する力」のことです。

その力をはぐくむために、京都を中心に活躍する企業から提示された課題を解決する「きょうと明日へのチャレンジコンテスト」への参加に向けて、宇治学を中心に課題解決型学習に取り組みました。課題の明確化や裏付けをとるために校外学習等を活用してインタビューなどの調査を行いながら、課題を深め解決策を検討していきました。こうした経験を通してPISA型読解力ははぐくまれていくと考えています。

教科の学習においても課題解決型の授業を取り入れ、教科の学びを深めながら宇治学との関連性を感じられるようにしています。



校外学習で積極的にアンケートをおこない、データを集めています。



様々な場面で、考えたことを発表する機会を設定しています。

企業から講師を招き、リアルな課題に向き合います。

広野中学校  
ホームページ



第19回「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」

令和5年12月11日(月)／宇治市役所大会議室

宇治市立各幼稚園・学校関係者、PTA・育友会関係者、各学区安全管理委員会の代表者等、39名の参加がありました。今回の会議では、京都府宇治警察署から少年の非行や被害等の現状についての講演と、本市教育委員会から宇治市小中学校の生徒指導の現状についての報告を行いました。

本市では、毎年7月10日～19日、12月10日～19日のそれぞれ10日間を「市民安全・安心推進旬間」と定め、子どもたちの安全を含めた地域の安全を再点検する機会としています。その一環として「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」は、家庭・学校・地域が共に手を携えながら、地域ぐるみで子どもの安全を守る取組として、継続して実施しています。

急募

宇治市立幼稚園、小・中学校の講師登録者募集中!

講師登録は随時受け付けています。迷っている方も、まずご連絡ください。

【お問い合わせ先】 宇治市教育委員会教育総務課 教職員係 【直通電話】0774-20-8755

メールアドレス: kyouikusoumuka@city.uji.kyoto.jp

先生の仕事に興味があるんだけど...

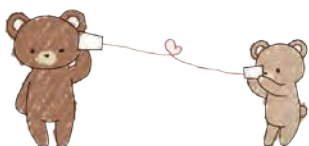
フルタイムでなくても大丈夫かしら?



対象  
小・中学生の皆さん  
保護者の皆さん

電話でもメールでもお気軽にご相談ください

メールはこちらから



「ふれあい教育相談」

電話 0774-21-1890 平日の午前8時30分から午後5時15分まで メールアドレス k-soudan@city.uji.kyoto.jp

『宇治市の教育だより』は、宇治市のホームページから閲覧することができます。

宇治市ホームページ <https://www.city.uji.kyoto.jp/> キーワード検索 宇治市の教育だより 検索



# 宇治市小中一貫教育推進協議会委員による視察から

小中一貫教育推進協議会は、本市の小中一貫教育の取組を総合的に推進することを目的に学識経験者、小・中学校保護者代表、地域関係団体代表、小・中学校関係者代表で構成しています。本協議会は定期的に開催され、宇治市小中一貫教育の取組について協議するほか、各中学校ブロックの取組や合同研修、授業の様子を視察しています。本年度は、伊勢田小、西小倉小、大久保小、御蔵山小、宇治中、木幡中、黄檗中、に委員が分かれて視察を行っています。

## 〈大久保小学校〉

今回、宇治学(総合的な学習の時間)での「紙芝居読み聞かせ」の取組を拝見させていただきました。

広野中学校1年生の生徒が、熱心に大久保小学校の1年生の児童に紙芝居をしていました。ワイワイ、ニコニコどちらの子どもたちも楽しそうでした。早く読み終わったグループがクイズで交流をしていましたが、中学生が小学生に「よくわかったね!すごいね!」と褒めている様子がありました。すごいいいものを見させてもらい、この様なことが大切だと感じました。

参観の後、コーディネーターの先生から、取組について説明していただき、目的やねらい等がよくわかりました。読み聞かせを行っていた中学生も6年前の小学生の時に、自分たちも読み聞かせをしてもらい、中学生への憧れを持つ機会になったことを大切に思い、この取組に繋がっていると聞き、良い取組をされていると思いました。

(地域関係団体代表委員)



## 〈西小倉小学校〉

西小倉中学校ブロックの授業研究会に参加させていただきました。公開授業をされておられた西小倉小学校の子どもたちはとても落ち着いて授業を受けていることに感心しました。事後研究会では、少人数のグループに分けられ、すべての先生が関わって、熱心にディスカッションが行われていました。

令和8年に控えている小中一貫校の開校に向けて、関係校の先生方の雰囲気に興味があり視察させていただきましたが、ラーニングコーディネーターを中心に、教職員間の繋がりは深まっている様子を感じられました。

(地域関係団体代表委員)



## 令和5年度 宇治市小中一貫教育推進協議会視察一覧

学校名	西小倉小学校	大久保小学校	御蔵山小学校	宇治中学校	木幡中学校	黄檗中学校
月 日	12月1日(金)	12月8日(金)	11月29日(水)	11月8日(水)	11月8日(水)	10月5日(木)
内 容	・西小倉中ブロック合同授業研究会 西小倉小での公開授業・事後研修会	・中学生の小学生への読み聞かせ 広野中学校1年生による大久保小1年生への読み聞かせ	・三校交流 笠取小・笠取二小との交流	・小学生体験入学 学校紹介・授業体験・部活動見学	・小学生体験入学 中1全生徒による群読等、小6・中1のグループ交流、部活動見学	・赤ちゃん交流 中3家庭科

### シリーズコラム 人との違い、人間関係

## 第3回 「遊び」と「人付き合い」

みなさんは子どもの時に、どのような遊びをしていましたか。私は、小学4年生の時に秘密基地作りに熱中し、宝物を秘密基地に持ち込んで、放課後は毎日みんなと基地で過ごしていました。6年生くらいになると、徐々に秘密基地に行かなくなり(今思うと後片付けをした記憶がないので、あの秘密基地はどうなってしまったのでしょうか)、いわゆる親友ができて、その子だけと秘密を共有し毎日を通いまして。

このように、その時期に好む「遊び」と「人付き合い」があったように思います。秘密基地の時期はみんなでワイワイすることが楽しく、一緒にドッジボールといった風に、仲間意識のある何人かとルールや目的のある遊びをすることを好んでいました。親友との時期は、今思うと息苦しく感じるくらいベタベタとした付き合い方で、何をすることも親友と一緒に、何をするかではなく、誰と(私の場合は親友と)過ごすかが重要でした。遊び方の好みが変わったから人付き合いの仕方が変わったのか、人付き合いの仕方が変わったから遊びの好みが変わったのかは分かりませんが、「遊び方」と「人付き合いの仕方」は連動しています。そして、どちらも年齢や環境とともに変化していきます、子どもの成長にとって大事な役割を持っているのです。

多くの子どもは小学校入学を機に、家族関係

を中心とした遊びや人付き合いから、学校や友人関係を中心とした生活に変化していきます。

3〜4年生頃に見られる、同年代の自発的なグループ活動を好む時期を、発達心理学では「ギャングエイジ」と言います。この時期には、家族内とは違った文化やルールがあること、暗黙のルールが存在すること、仲間との一体感といった社会的体験をしていきます。そういった体験を通して、新たな価値観やグループで活動する際のルールなどを身に付け、集団生活の基盤となる社会性を身に付けていくと考えられています。小学5〜6年生や中学生頃にはギャングエイジが終わり、発達心理学でいうところの青年期に入っていきます。親や大人からの干渉を嫌い始める、他者と自分を比較する、1対1の向き合うような対人関係を好むなどといった様子が見られるようになります。この時期の体験や人間関係を通じて、自分が何者なのか、自分はどういうような価値観を持っているのかといったような自分自身に向き合う体験をし、自己を確立し自立していこうとします。大人になる準備をしているとも言えるでしょう。このとおり、成長の過程の中でそれぞれの時期にある「遊び」や「人付き合い」は、子どもの成長を促すのに重要な機能を持っています。大人からすると、秘密基地はバカバカしく見えたり、特定の友人とのベタベタした人間関係が心配になったりもするのですが、「遊び」や「人付き合い」といった体験を通してこそ身に付くものもあると思います。子どもの安全を確保しながらも、十分な「遊び」と「人付き合い」ができるように見守っていきたいものですね。

スクールカウンセラー A

# My school pride ~私たちの学校自慢~

## 宇治市立小倉小学校

宇治市立小倉小学校は今年度創立150周年を迎えました

明治6年、市内4番目の学校として開校し、地域に愛され地域とともに歩みを進めてまいりました。旧淀藩の陣屋を改造しての開校から、それぞれの時代の流れを受けて学校の名前についても、開校当初から現在までの間に「小倉尋常小学校」→「小倉尋常高等小学校」→「小倉国民学校」→「宇治市立小倉小学校」と改称の歴史があります。また、同じ敷地内には平成7年度から高齢者福祉施設である北宇治地域包括支援センター(デイサービス・介護サービス)が併設されており、地域における福祉のキーステーションとして地域の方々と児童との世代間交流もこれまでに数多く行っています。

- 「すこやか小倉っ子」の育成に向けて、
- 「何事にも責任を持って、すすんでやりぬく子」
- 「生命を大切にし、こころもからだも元気な子」
- 「自分も友達も大切にする、やさしい子」
- 「自ら学び、かんがえ、表現できる子」

これからもこの小倉の学びの森で、保護者・地域の皆様とともに児童の育ちを中心に据え、教育実践をさらに積み重ねてまいります。



桜橋からの校舎



宇治市名木百選「ソテツ」



創立150周年記念式典



小倉坂(校門付近)からの校舎

小倉小学校  
ホームページ



## 宇治市立伊勢田小学校

地域とともに歩んだ50年間



伊勢田小学校が宇治市における第16番目の小学校として、昭和49年4月に開校してから50年の歳月が流れました。開校当初は、児童数704名、19学級の大規模校として創立されました。

50年前の伊勢田小学校開校にあたっては、伊勢田の地に「おらが学校を」という地域住民の熱い想いのもと、開校準備には地域から300人余りの人が参集し、学校と一体となって机・椅子の搬入から教室・廊下の掃除にいたるまでの協力や、中庭の植栽等の整備にも力を貸していただきました。

今回の創立50周年記念式典でも、地域を挙げて祝っていただきました。式典のオープニングには民族衣装を纏った地域の方々が演舞を披露され、式典会場には絵画や写真、パッチワークや生け花などたくさんの展示物で50周年をお祝いしていただきました。

この伊勢田小学校50年間の歩みの中には、関係者の方々のご苦勞と物心両面にわたる数々のご支援があったことを、全校児童・教職員であらためて感じることができました。「おらが学校」で、すくすく伸びた良い子らは、今年で5,989名を数え、卒業生は社会各分野で活躍し、本校の伝統づくりに貢献しており、心強く嬉しい限りです。

これからも伊勢田小学校は「地域とともにある学校」を目指して、さらなる歴史を紡いでいきたいと思ひます。

伊勢田小学校  
ホームページ



## 宇治市立岡屋小学校

宇治市立岡屋小学校は創立50周年を迎えました



玄関前の校章



創立50周年記念選書会



記念冊子の撮影



創立50周年記念式典



バルーンリリース

岡屋小学校は、昭和49年4月に開校しました。創立50周年を迎えた令和5年度は、児童数347名、14学級の中規模校として、めざす児童像「心やさしい子」「すすんで学び、考える子」「ねばり強い子」を目標に、教育活動を展開しています。

今年度、創立50周年記念事業として、学校の玄関前に校章を設置し、体育館の緞帳を新調しました。また、子どもたちが購入希望図書を選ぶ50周年記念選書会、未来への思いを込めて子どもたち一人一人が風船を大空に放つバルーンリリースを行い、将来の夢を画用紙に書き撮影をした記念冊子を作成しました。10月25日(土)の創立50周年記念式典では、第1部で児童代表が「よろこびの言葉」を述べ、第2部では学年ごとに合奏や合唱、オペレッタなど、学年ごとに日頃の学習の成果を発表する学習発表会を実施しました。

これからも、子どもたちが安心できる学校づくりを目指して、保護者や地域の方とともに手を携えながら子どもたちを育てていきます。

岡屋小学校  
ホームページ

